

KARIN

1

2023

冬号

<http://www.karindoh.or.jp/outpatient/>


村上華林堂病院は、患者様の在宅療養をサポートする「機能強化型在宅療養支援病院」です

診療科目	総合診療科 / 内科 / 老年内科 / 循環器内科 / 血液・腫瘍内科 / 脳神経内科 糖尿病・内分泌内科 / 腎臓内科 / 人工透析内科 / 消化器・肝臓内科 / 呼吸器内科 緩和ケア内科 / 眼科 / 整形外科 / リハビリテーション科
専門診療	在宅診療 / 緩和ケア / 神経難病ケア / 糖尿病センター / 血液浄化療法センター (人工透析)
受付時間	月～金 午前 8 : 30 (9 : 00) ～ 11 : 30 午後 1 : 00 (1 : 30) ～ 4 : 00 土曜日 午前 8 : 30 (9 : 00) ～ 11 : 30 ※土曜日は午前のみ ※ () 内は診療開始時間
関連部門	訪問リハビリテーション / 居宅介護支援事業所「かりん」 / 訪問看護ステーション「かりん」 通所リハビリテーション / サービス付き高齢者向け住宅「かりん」

20

新年あけまして おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、はや3年が経とうとしています。この3年間は世の中自体がすべて新型コロナウイルス一色に染まっていきました。これまでに経験したことのない感染対策の徹底、発熱外来でのスクリーニングなど診療そのものが大きく変わりました。村上華林堂病院も発熱外来によるコロナ患者に対応しながら福岡県の新型コロナウイルス患者の病床確保にも協力してまいりました。そして、厳しい新型コロナ感染症流行の中でも従来通りの診療を継続してこられたのも、病院スタッフ一同の協力のおかげであると感謝しております。

医療政策においては、コロナ禍においても医療機関はこれまで通り、地域包括ケアや地域医療構想の中で病院の機能分化に応じた医療提供体制の構築が望まれています。その中で当院は在宅療養支援病院として地域の皆様に最後まで安心できる医療・介護を提供する事が使命であると考えます。

ワクチンや治療薬も開発され、新型コロナウイルスに対する対応もこれまでより大きく改善されてはおりますが、感染対策は継続していかなければなりません。これからも職員一同力を合わせ、地域医療に貢献していく所存でございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



医療法人財団 華林会
理事長

菊池 仁志

今年の正月は穏やかな気候でした。

昨年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年間でした。新型コロナウイルスの感染力、伝搬力は凄まじいものがあり、診療機能の停滞を余儀なくされた年でもありました。今年も引き続き感染防御と通常の医療機能提供体制の両立を目指して職員全員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

新型コロナ感染症は地域における当院の役割について改めて考え直す機会を与えてくれました。地域の方々が、自分らしく尊厳を持って毎日を過ごしていくためには、それぞれの方の生活を尊重した医療と介護サービスの提供が重要だと考えます。地域における当院の役割の根幹は、近隣の医療・介護・福祉施設と連携し、入院設備のある病院として総合的に地域の方々の生活を支援することだと考えます。当院の役割を全職員で共有して、地域の方々と共に歩んでいく病院、安心感を提供できる病院、患者さんご家族、近隣の医療・介護・福祉施設の方々が気持ちよく利用できる病院を目指していききたいと思います。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



村上華林堂病院
病院長

司城 博志

23

令和5年 新しい年を迎えて
サービス付き高齢者向け住宅かりん
新年祝賀会

サービス付き
高齢者向け住宅かりん
施設長

野田 江美子

新春の御喜びを申し上げます。

旧年中は、入居者の方々、ご家族の方々、関係者の方々には大変お世話になりました。特に「かりん」は10周年を迎え、記念式典や記念誌を作るにあたり、あまりにも多くの方々にご支援とご指導、ご協力をいただいていたことに改めて思いをはせ、感謝!感謝!です。

2022年はこれまでに経験した事のない年であったと思います。すでに3年近くが経過してもおさまる気配のない新型コロナウイルスの感染に加え、2月に始まったロシアのウクライナ侵攻等暗い影を落としました。半面、アメリカメジャーリーグで活躍する大谷選手や、サッカーワールドカップではサムライブルーが優勝候補のドイツやスペインに勝利し、皆に笑顔と希望をもたらしてくれました。

「かりん」においても、改めて普通の生活・・・外出や家族に会える、外食が出来る等々がいかに大切日々であることを、又「生きる」ことの意味を感染の前には権力もお金も地位も何も役に立たない、人間が本来持っている愛をもって生きる事の大切さを改めて思い起こさせてくれた事でしょう。

我々はいつも入居者と共に最期までを普通に生きる、生きる事の大切さを1人1人大事にしています。それぞれの人生には、かつて輝かしい時代があり、又苦難に満ちた日々もあった事でしょう。老いてたどり着いた家が「かりん」であれば、最期までを一生懸命、愛と道義をもって生きて頂きたいと思っています。決して表立つことのない日々ですが、同じ屋根の下で我々は、ご家族や多くの人の支えを借り、愛おしい日々を共に今年も過ごしていきたいと思っています。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

第10回 日本難病医療ネットワーク学会で優秀演題賞



優秀演題賞

リハビリテーション科
木村 一喜 (言語聴覚士)

「誤嚥性肺炎発症後のパーキンソン病および関連疾患患者に対する嚥下評価・訓練の有効性」という演題で発表をし、優秀演題賞を受賞することができました。多くの患者様と当院のスタッフにご協力頂いたおかげです。

ありがとうございました。

【同学会発表者】 写真左: 亀山 莞太 (作業療法士)
写真中央: 木村 一喜 (言語聴覚士) ※受賞者
写真右: 齋藤 正直 (言語聴覚士)

外来診療担当医表

令和5年1月1日～

診療科	医師氏名	月		火		水		木		金		土 (午前のみ)	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	第1・第3	第2・第4
消化器・肝臓内科	司城 博志			●		●	予約のみ	予約のみ				●	
	小山 洋一	●								●			●
	横山 昌典	●			●				●			●	
循環器内科	星野 史博	●	ペースメーカー 外来						●	10時～	14時～		●
	有村 忠聡									●	●		
	栗野 孝志			第1・3	第1・3								
	田代 浩平			第2・4・5	第2・4・5								
(リハビリ科)	白井 和之		●			●	第2・4 新患総合外来					●	
腎臓内科	村田 敏晃				●			●					●
血液・腫瘍内科	柴田 隆夫			化学療法		新患 総合外来		●			●		●
	工並 直子		●	新患 総合外来				●				●	
	高松 泰				●								
脳神経内科	菊池 仁志	●								●			●
	山田 猛	●				第3は10時～					●	●	●
	谷脇予志秀				●	●				新患 総合外来			●
	古田興之介						●						
	梅谷 啓太		●					●					●
	佐藤 真依		●					●					●
	坪井 義夫						第4のみ						
	藤岡 伸助							●	●				
大石 文芽				●									
呼吸器内科	有富 貴道	●		●		SASのみ			●		～15時	●	
	串間 尚子							●					
糖尿病・内分泌内科	吉田 亮子	新患 総合外来		●						●			
	柳田 育美	●			●	●						●	
	小野 順子				●				●				
	矢野 沙織								●				
整形外科	蒲原 光義	●							●		●		
	荒木 剛				●								
形成外科	前山 徹					●	●						
眼科	野下 純世			●	●			●	●				
	ファン・ジェーン	交代制		●	●	交代制		●	●	交代制			交代制
	木場亜紀子			●	●			●	●				
訪問診療	田代 博史												



- 西鉄バスをご利用の場合** ※下記路線バスにて「大河原バス停」下車
- 514 博多駅 ▶ 都市高速・姪浜ランプ ▶ 大河原 ▶ 野方
 - 504 天神 ▶ 都市高速・姪浜ランプ ▶ 大河原 ▶ 野方
 - 503 博多駅 ▶ 天神 ▶ 都市高速 ▶ 室住団地 ▶ 大河原 ▶ 野方
 - 1 姪浜駅南口 ▶ 福重二丁目 ▶ 木の葉モール北口 ▶ 大河原 ▶ 野方
 - 1-4 姪浜駅南口 ▶ 都橋 ▶ 白十字病院前 ▶ 橋本西 ▶ 大河原 ▶ 野方
 - 2 (西新経由) 博多駅 ▶ 天神 ▶ 原 ▶ 室住団地 ▶ 大河原 ▶ 野方
 - 203 204 福重線(国体道路経由) 博多駅 ▶ 天神 ▶ 大河原 ▶ 野方
 - 214 (薬院経由) 博多駅 ▶ 薬院 ▶ 六本松 ▶ 大河原 ▶ 野方

- 無料病院巡回バスをご利用の場合** ※日祝日は運行いたしておりません
- 1号車 病院 ▶ 大河原バス停 ▶ 志岐農協 ▶ 姪浜駅北口 ▶ 都橋 ▶ 病院
 - 2号車 病院 ▶ 志岐公民館前 ▶ 生松台 ▶ 野方台 ▶ 藤ヶ丘団地 ▶ 羽根戸 ▶ 吉武 ▶ 病院
 - 3号車 病院 ▶ 地下鉄橋本駅2番出口前 ▶ 美室団地口 ▶ 室住団地 ▶ 地下鉄橋本駅2番出口前 ▶ 病院
 - 6号車 病院 ▶ サ高住かりん ▶ 大河原バス停 ▶ 上山門 ▶ 下山門駅 ▶ 下山門農協 ▶ サ高住かりん ▶ 病院

〈病院理念〉 医療の公共性を重んじ、信頼される医療を通じて地域社会に貢献します。

日本医療機能評価機構認定病院・救急告示(内科)・開放型病院
医療法人財団 華林会
村上華林堂病院

〒819-8585 福岡市西区戸切2-14-45
 TEL 092-811-3331 FAX 092-812-2161
 ホームページ <http://www.karindoh.or.jp>
 お問い合わせ info@karindoh.or.jp

